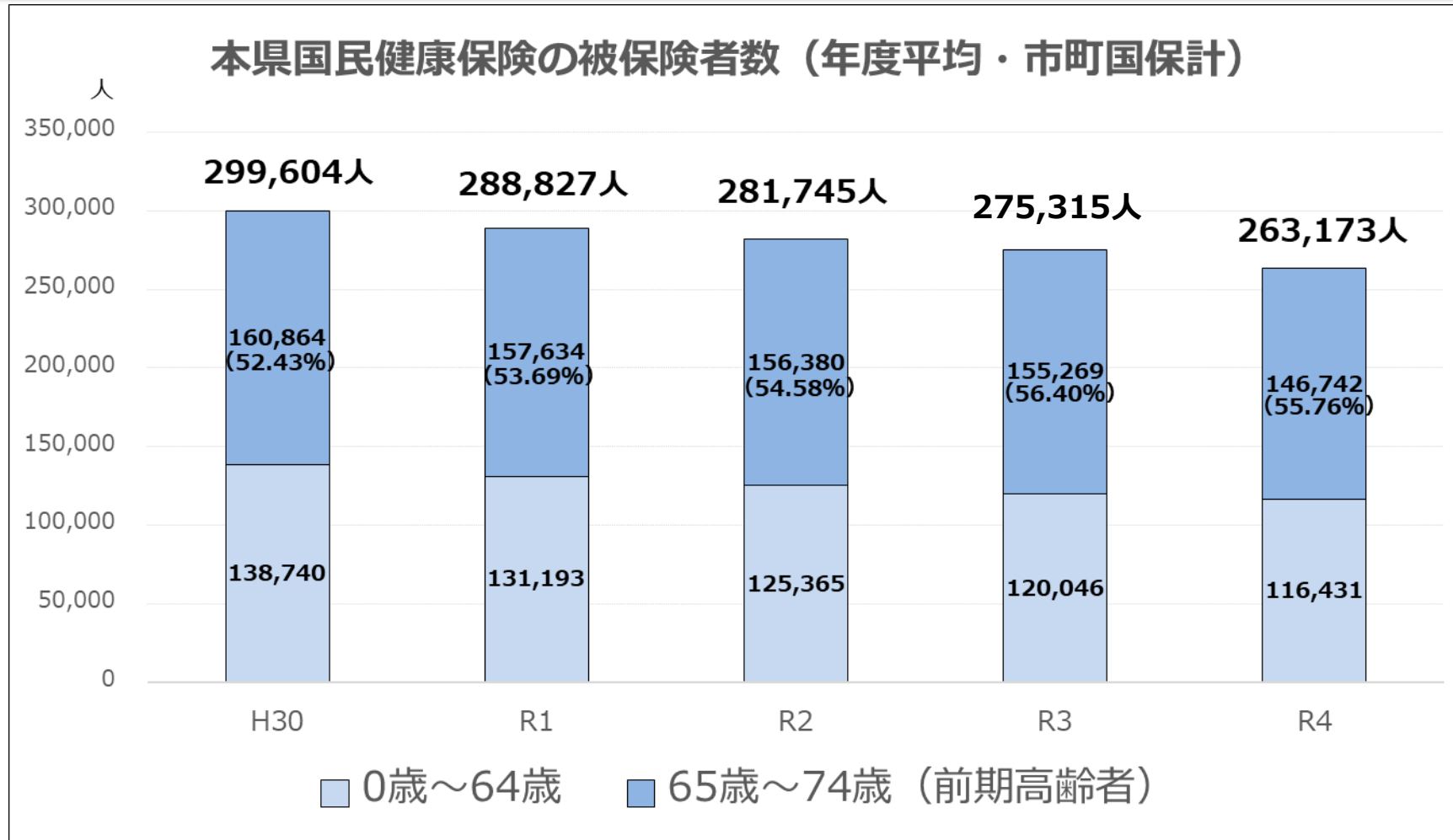


本県の国民健康保険の概況

＜令和5年11月 山口県国民健康保険運営協議会＞

本県国民健康保険の被保険者数の推移

本県国保の被保険者数は年々減少する傾向にあるが、前期高齢者の割合は増加しており、全国と比較しても前期高齢者の割合が高い。（全国平均は40%前半で推移）

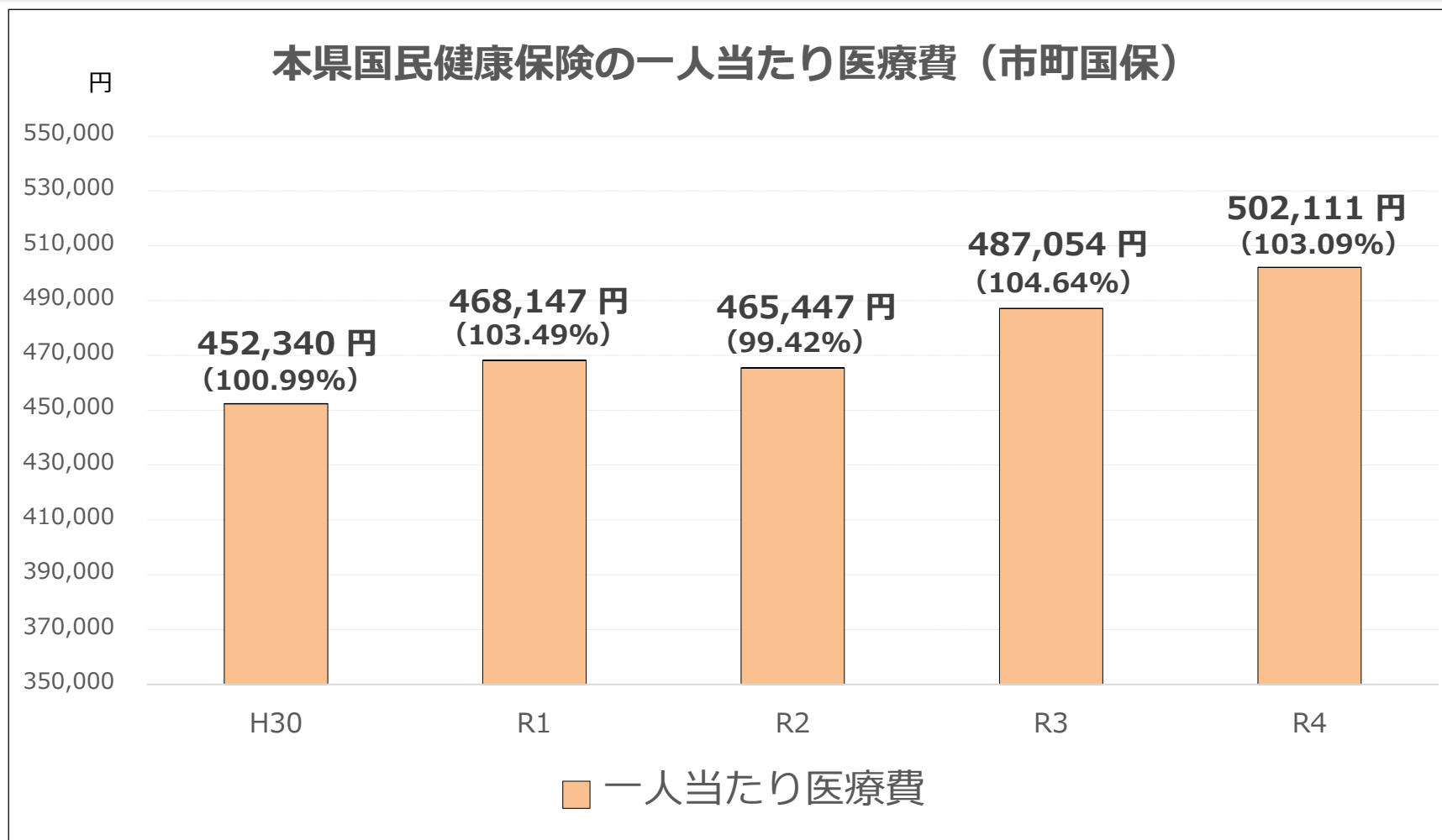


※（ ）は被保険者総数に占める前期高齢者の割合

※令和4年度は速報値

本県国民健康保険の一人当たり医療費の推移

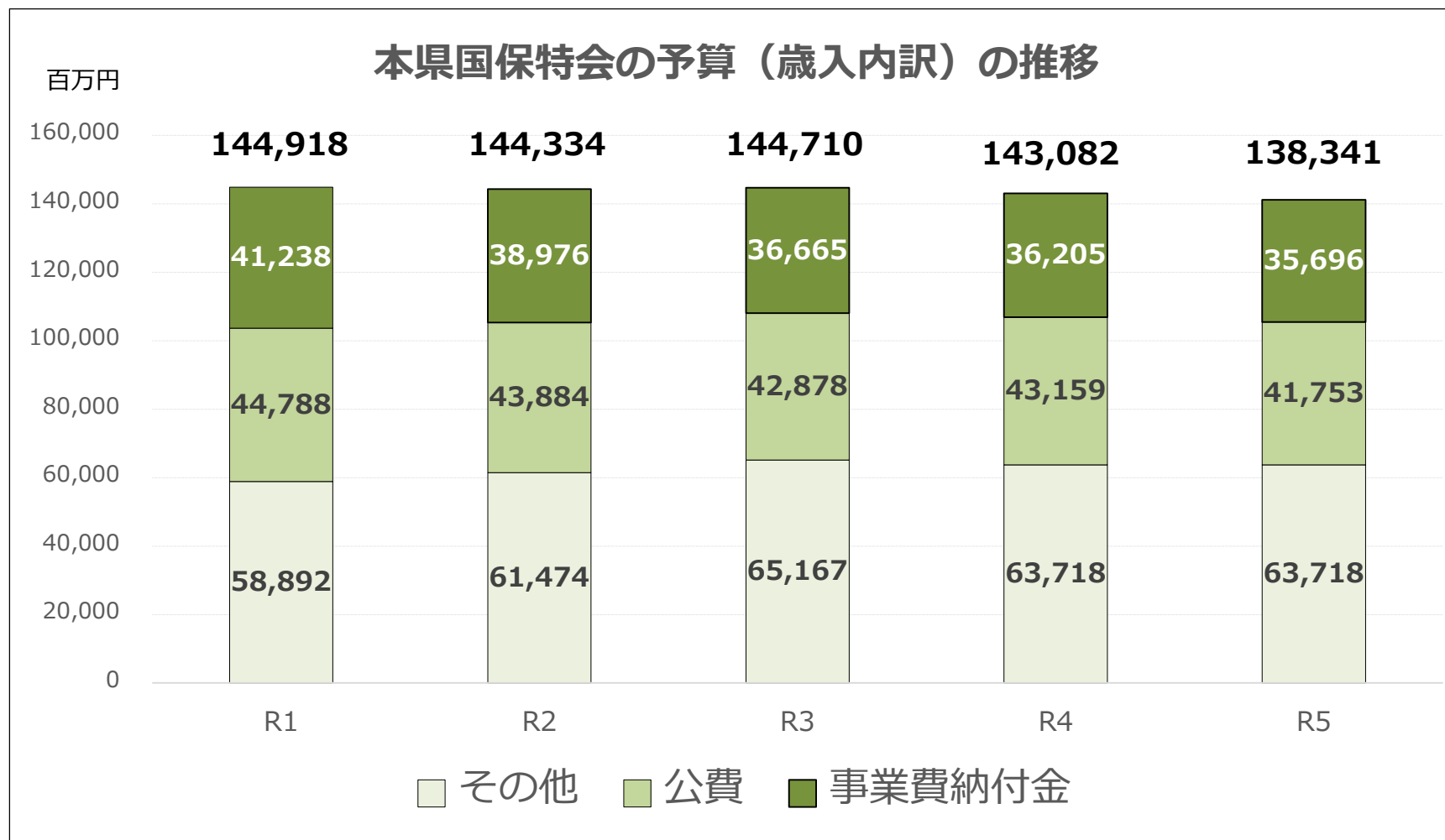
本県国保の一人当たり医療費は、高齢化や医療の高度化等により、年々増加する傾向にある。全国と比較しても本県の一人当たり医療費は高い。（令和2年度実績で全国3位）



※ () は対前年比
※ 令和4年度は速報値

本県国民健康保険特別会計の予算の推移

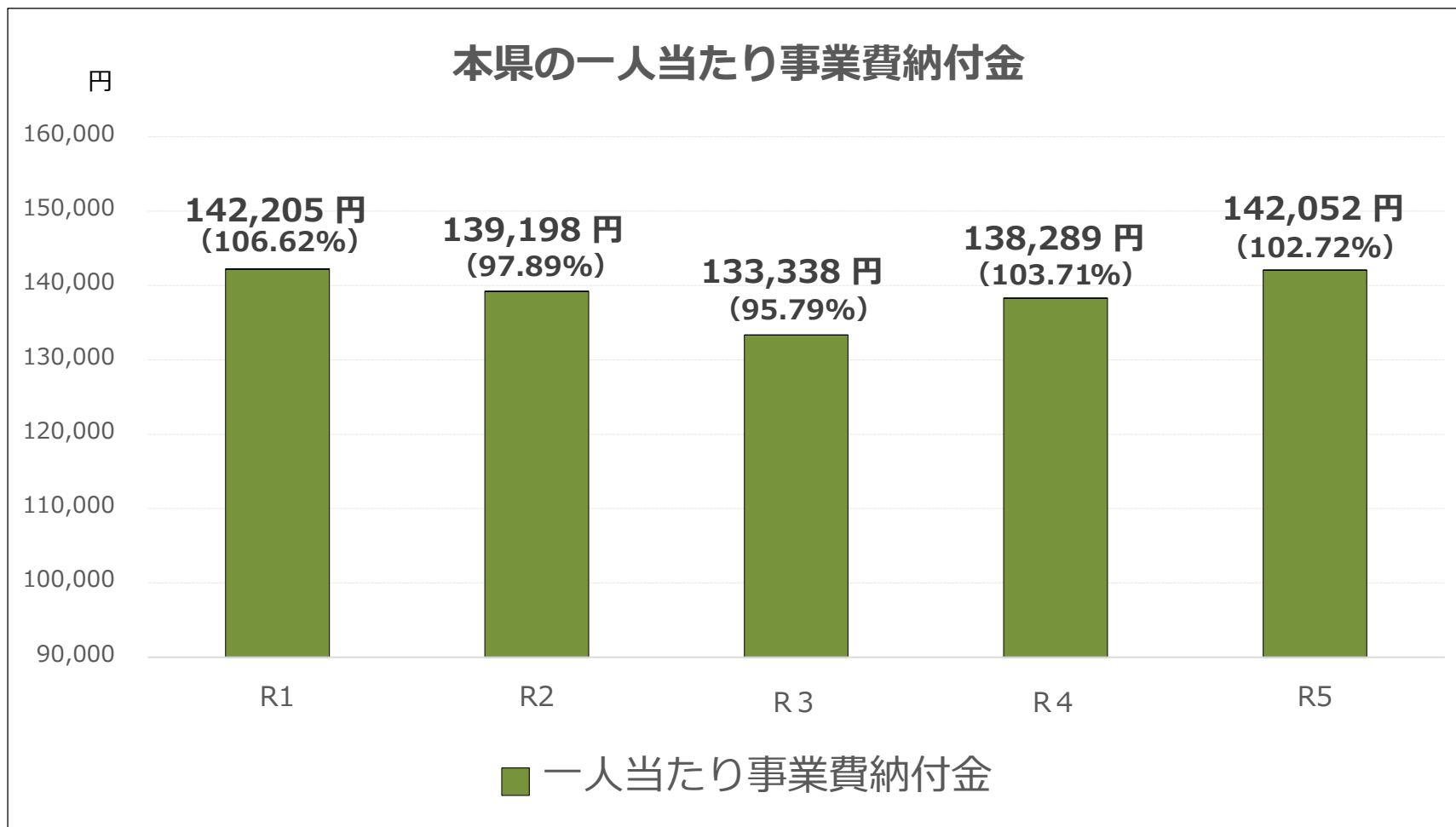
本県国保特会の予算は、被保険者数の減少・一人当たり医療費の増加を反映した結果、ほぼ横ばい（約1,400億円規模）で推移している。



※ 歳入内訳のうち「その他」は、主に前期高齢者交付金（65～74歳の被保険者の割合に応じて他の医療保険者から支払基金を經由して支払われる交付金）

本県の一人当たり事業費納付金の推移

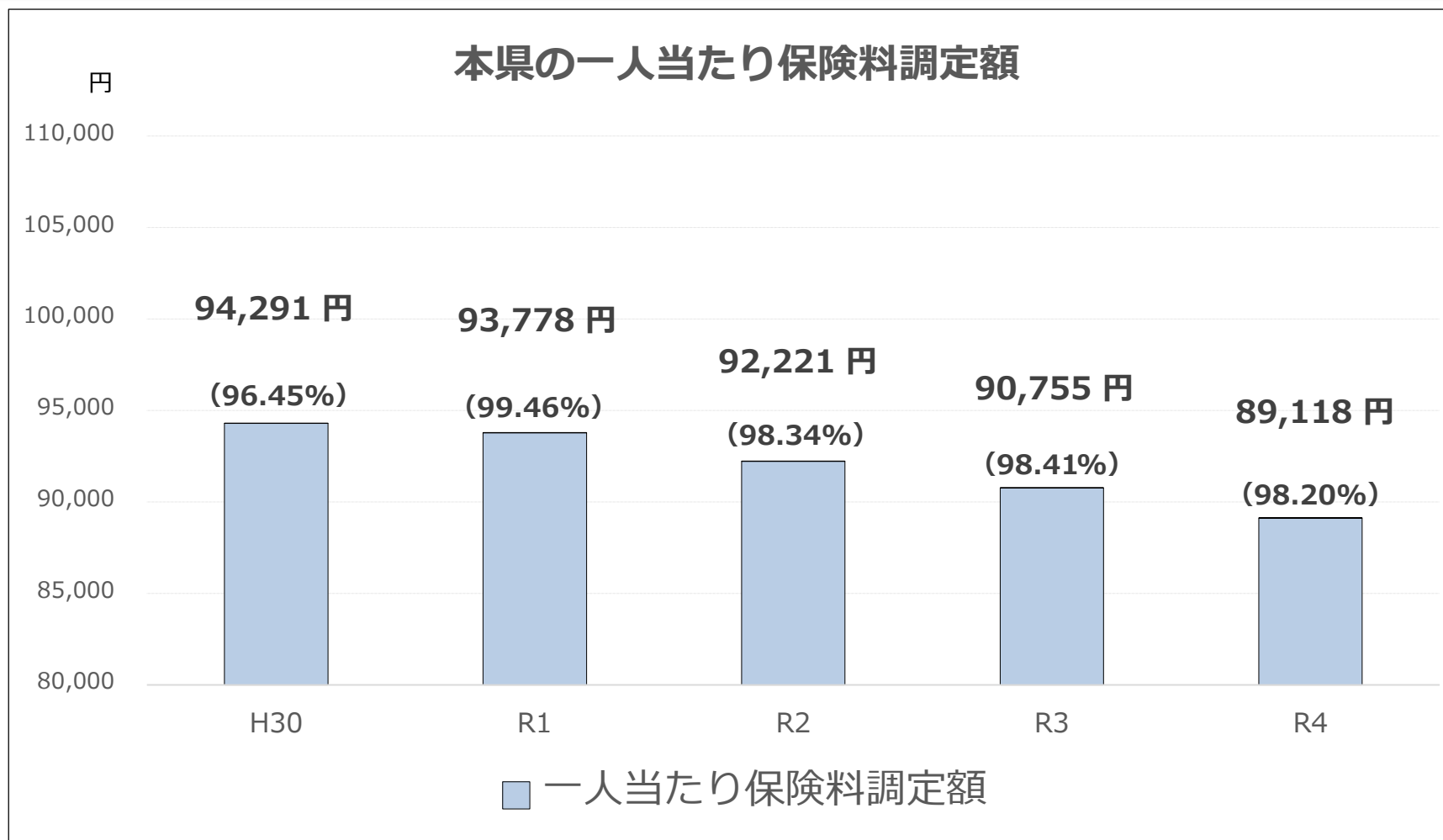
本県の事業費納付金は、毎年度の保険給付費の見込（歳出）や前期高齢者交付金の交付見込額（歳入）等に応じて増減し、制度開始以後、おおよそ13万円～14万円程度で推移している。



- ※ 一般被保険者に係る事業費納付金額（医療＋後期＋介護）から算出
- ※ 保険給付費等の歳出見込から、公費及び前期高齢者交付金等の歳入見込を除いた残額を、事業費納付金として設定
- ※ () は対前年比

本県の一人当たり保険料調定額の推移

本県の一人当たり保険料調定額は、近年、減少傾向にある。



- ※ 保険料調定総額（医療＋後期＋介護）を全被保険者数で除して算出
- ※ 各市町は、事業費納付金から各市町毎に異なる歳入歳出・低所得者に係る軽減額等を反映させて保険料を設定
- ※ 令和4年度は速報値、（ ）は対前年比